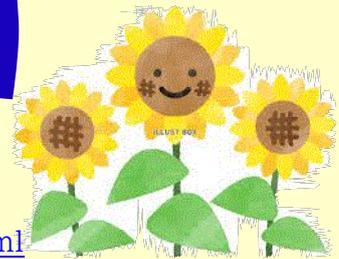


教育目標

夢を一緒にかなえよう

～気付き・考え・高め合う～

ひまわり



住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX:0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)

子どもへの最大の贈り物とは

校長 田中 雄志

数年前、当時勤務していた学校で子育て講座がありました。その時に拝聴した講話がとても心に残っているので、今回はそのときの講話の概要を紹介します。

その講座では、まず講師が「子どもへの最大の贈り物は何だと思えますか。考えておいてください。」と前置きをされて講話を始められました。それから、現代の子育ての風潮を示した詩「子育てないないづくし」

などを基に、子育てについて多くの示唆を与えてくださいました。子どもを心身ともに元気でたくましく育てたいという思いや願いはあっても、実際はそのようにできなかつたり、うまくいかなかつたりすることが多いものです。その詩を聴きながら、私も自分の子育てを振り返り、耳の痛い思いをしたことを覚えています。どなたが作られた詩か分かりませんが、右に紹介します。

世の中がどんどん便利になり、不自由なことが少なくなって生活が快適になる一方で、子どもたちの心身は逆にひ弱になりつつあるのではと心配されています。講師は、このよ

うな実態を踏まえながら「雨にも負けず」の詩や日本に伝わる子育ての諺を活用して体験の大切さ、我慢することや失敗・恥・悩みの経験、歩いて登校、手伝い、友達と遊ぶ、地域活動に積極的に参加すること等が大事であると力説されました。

また、基本的な生活習慣の確立や規範意識の涵養、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムの定着、いじめはしないなど人権尊重の精神を大切にするとともに、これらのことは身につくまで繰り返し続けることが大切だと話されました。子どもを伸ばす言葉にもふれられ、ほめて認めて子どもにやる気をもたすことの大切さも教えてくださいました。子育ては親育ちでもあり、子育てを楽しんで欲しいと思います。

最後に、講師は再度「子どもへの最大の贈り物は何だと思えますか」と問いました。答えは「正しいしつけ」だそうです。参加していた保護者の皆さんも大いに納得された様子でした。

今年も残り1か月となってきました。これから日に日に寒さが増してきます。体調に気を付けて元気に2学期を乗り切ってほしいと思います。

子育てないないづくし

暖房きかせて 寒さがない
冷房きかせて 暑さがない
おやつが過ぎて 空腹がない
歩かせないで 疲れがない
おもちゃのやり過ぎで 興味がない
テレビの見過ぎで 考えない
何でもホイホイ 我慢がない
点数以外は 関心がない
分かっているけど 行わない
これではまともに 育たない